夕刊
新京日日新聞
定價 一ヶ月 金…錢　郵稅 一ヶ月 金…錢
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社 電話二三〇〇・二三五二番
發行人 十河榮忠　編輯人 松本男二　印刷人 谷啓二

日本橋通驛前 中谷時計店 電話三八五四

滿洲國經濟建設綱要（五）

第八、商業の助長

（一）一般商業に對しては努めて之を助長獎勵し、取引の圓滑を期し、國內產業の販路を廣く世界に求め、以て商買の繁榮を計らんとす之か爲め我商民の特徵益々之を助長せしめ舊慣の改む可きは之を矯正し以て取引の合理化を期す。又生活の必要品其他國民生活に重要なる關係を有する商品につきては適切なる供給と價格の調節をなす。

（二）新に特許法、商標法等を發布し工業所有權の保護を計り、寄託、保險等に關する法制を定め、度量衡の制度を統一し其他取引所の制度を改善する等商取引に關する文明的施設をなさむとす。

（三）關稅政策は貿易の振興を旨とし國際取引の增進を期す。

第九、私經濟の改善

政府は單に私に偏する舊東北軍閥の秕政を排するに止らず積極的に各種の救濟及施設を實行し濟世救民以て惠澤を一般民衆に及ほし其私經濟を改善し民力培養に努むされと徒らに遊民徒食の輩の存在を許さす。自治、隣保扶助の美風を作興普及す、之か爲め左の如き方策を講す。

一、凡有方法を講し國民大衆の生命及財產の安固を期す

二、官民協力し適當の施設を行ひ恒に飢饉其他天災に備へ野に餓孚なからしむるを期す。

三、稅制を整理し負擔の均衡及輕減を圖り民力の伸張を期す

四、國民大衆に對し生活必需品の低廉なる供給を圖る

五、各種產業組合及金融組合の健全なる發達を圖り相互扶助の實を擧ぐるに努む

六、一般失業者に對して生業を與ふるの道を講す

第十、結論

以上開示せる經濟各部門に關する建設方針の要綱は尚未だ其規模小なりと雖も漸次我國財政經濟の實力に應し其計畫を擴大せんとするものにして然も本計畫を以て進むも現在我總生產額三十億圓は十年を出でずして培加するを疑はす況んや將來に於ける國力の增大は期して待つへきものあらん然りと雖も前記初期方針の實行に於ても巨額の資本と優秀なる技術及國民一致の協力を必要とす其經濟建設資金は廣く之を世界に求むると共に國內に於ては主として中小資本の吸收に努め國民全般の福利增進を主眼とし技術的指導亦之を中外に求むへし要は國家と國民永遠の繁榮を基調として世界に比類なき新經濟組織を完成し我王道建國の大使命を全ふせんとするに在り茲に三千萬民衆に本建設綱要を示して切に其の鞏固たる決心と協力を冀望する所以なり　（完）

昨日の衆院本會議
內相より震災を報告

〔東京四日發國通〕衆議院本會議は午後一時四十三分開會議長より

昨三日三陸地方に起つた大地震の爲め不測の慘害を蒙つた事を悲しむ、死傷者中には滿洲派遣軍の家族も多いとの事であるが國民は充分に慰籍をなし、派遣將士に後顧の憂なからしめ度いと思ふ

と述べ、滿場拍手、次いで山本內相各縣別に被害を詳細報告し、更に此の震災に對する內務省の處置に關し

先づ飛行機で一般被害を視察せしめ、更に救助の爲め丹波社會局長官を派遣し又土木技師多數を出發せしめた、警備上の事故はなかつたが今後も遺憾なきを期してゐる救護の方法も各府縣を督勵し全力を盡してゐる

旨を報告し、ついで小山法相は

長野縣下及び長崎縣に於て起つた不祥事件については取引べ中であるが、本會議で報告する

と、その後の共產黨事件の發表を豫約して日程に入り、外國爲替管理法案を議題に供し木暮武太夫氏から委員會の經過結果を報告し直ちに第二讀會を開き、野中徹也氏修正案を提げて立ち

第四條の一部修正を提議すると共に施行細目については希望決議を附し度い

と述べ、討議に入り小笠原三九郎氏希望意見を述べて政府案に贊成の意見を表示し、次いで田中貢氏(民)も亦希望意見を開陳して贊成論を述べ、採決に入り野中氏の修正案を否決、委員會報告通り可決決定、次いで米穀統制案、米穀需給調節案、特別會計法中改正法律案を一括上程、委員長東武氏より委員會の經過結果の報告あり、第二讀會を開き山谷義治(國同)氏は政府案反對を述べ、修正案提出の趣旨を說明、終つて討論に入り、宮崎一(政)高橋守平(民)の兩氏より贊成意見を述べ、採決に入り由谷義治氏の修正案を否決、委員長の報告通り可決散會した

日滿通商條約
呂宜文司長と語る

…商司長呂宜文氏に日滿通商條約の具体的形態を問へば

△日滿兩國は議定書に基き殆んど一体をなす關係にあるを以て、今更改めて各國間の様な通商條約を締結する必要がない

△でも目下準備中の通商條約は如何なる種類のものですか？

△それは最惠國條款中で最も有利なのを擇ぶでせう

△では滿洲國が將來各國に承認された際列强も之に均霑し、日滿の特殊關係がなくなる事はないですか

△滿洲國は建國以來機會均等門戶開放の主義ですからこれ無しと斷言出來ませんが、日滿はそれによつて少しも不利を得るに至りません。滿洲國は王道政治のため大局から見れば日本の帝國主義も此理想に包含され、立派な大亞細亞主義が近き將來に現出されます、孔子の所謂王道の理想が日滿によつて始て實現されるのです

△理想から言へば其の様になるを望みますが陶淵明の「武陵桃源」詩、ベヲミーの「回顧」にしてもベイコンの「新アトランテス」其他各國の理想郷文學を涉獵して見ましても、理想郷の存在は確たる場所を指さず何處にも無い所、只想像の翼を以て描いた世界なんです、そして理想郷にも異民族に對する反感と之に對する兵備があるのを通例としますが、我が滿洲國も結局は王道樂土となり得ない諸點を澤山保有してゐるのではないですか

△それは物質文明の上に建てられたユートピア文化だからですよ、眞の王道の精神文化から進めば現實にパラダイスを生み出します云々

次で王道の意義、王化と侵略の差異等をも親切適切に縷々說明した

倫敦シャム公使館
票決棄權につき獨立の立場說明

〔ロンドン四日發國通〕當地駐劄シャム公使館は二月二十四日の聯盟總會で同代表が棄權した件につき三日左の如きコンミュニケを發表した

シャム政府は日支紛爭事件に關して終始中立の立場を維持する政策をとりつゝあり、之に基きシャム代表は二十四日の總會に於ける報告書票決で棄權したものである、最近シャム政府が武器購入其の他の方法で日本政府の助力を得てゐるとの風說を聞くが全く根據なき風說に過ぎない

熱河に就て（六）

元より其內容に就ては秘密裡に行はれた爲詳細を知る由もないが、各委員皆張學良に失地回復の大權を附與することを主張し、東北軍の熱河及び北部河北省移動を慫慂し、學良亦宋子文に對し抗日を決心する旨を通知した由である。該會議に於て決議せりと傳へらるゝ對滿決議は概ね次の如きものである。

國際聯盟は滿洲問題に對し實質的解決の力を有せざるが故に表面は之を利用するも支那獨力を以て東北を回復するを要す。之が爲武力抗爭の手段を採るも從來の如き義勇軍の作戰方式たる日本軍に對する決戰主義は失敗せるに就き、廣く滿洲各地に分散し、日本軍の治安維持を亂し滿洲國經濟機關の完成を終始攪亂す右の行動を永續すれば日本は遂に支那との妥協を求むるに至るべし。之が爲華僑其他特別の愛國家の義捐金を募集するは全國一般官吏軍人中より一定の額を命令に依り控除し更に一般民衆の之に倣ふに至る如く愛國宣傳を行ふべし。

尚國際通信社南京電報は左の如く傳へて居る。

一 三中全會は抗日作戰計畫を決定の新軍二十萬人を募集して一年間河南、河北、山東の三省にて訓練するに決し何應欽は召募院總監に、朱培德は訓練總監に任せられたり

二 軍政部は二百萬元を支出して河南、湖南、安徽三省に多量の米穀を購買して軍用糧食を充實し一部は平津に大部は洛陽に輸送集積して抗日作戰準備に充つるに決せり。

以上の如く三中全會は對日強硬論に終始せられ、其決議亦上述の如きものあるを以て學良は此結果有力なる背後の動きに依り、熱河の擾亂に努力せざるべからざるに至るべきは想像に固からず、年末年始にかけ熱河方面の風雲急なるものあるは自ら諒解せらるゝであらう

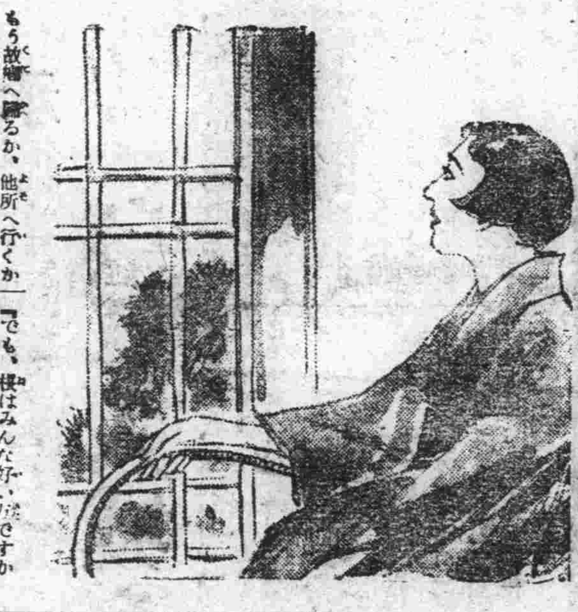
七、結論

以上で大體熱河問題をつくした積りである。申す迄もなく熱河省が滿洲國建國の當初より滿洲國の一部であることは本稿冒頭に述べし如く中外に隱れなき炳乎たる事實であるに拘らず、尚舊思想にとらはれて省民塗炭の苦を外に、自利を營むにのみ汲々として、王道を基調とする滿洲國建國の大理想を解せず、却て其治安維持を脅すが如きは、既往滿洲各地に跳梁せし匪賊兵匪と何等異る所なく、之を掃除することは宛も曩に馬占山軍蘇炳文軍の討伐を行つたのと同樣洵に當然のことである、殊に近時に至り著々として戰備を整へある狀況に於て益々然りである。而して之が誅伐は純然たる滿洲國の國內問題であつて、斷じて第三者の介入を許さゞる所である。然るに支那側は國際關係のデリケートなる平津地方と熱河とを密接なる關係あるが如く宣傳し皇軍が熱河の治安維持を策することあるとき、直に北支に兵火が及ぶ如く騷ぎ立てゝ居る。而して山海關事件は元々北支軍閥の政治的謀略として計畫的に行つたものか、或は不軍紀なる昆地軍隊の突發行動に依るものかは別として生起したる事件其者に關しては支那側は之を以て熱河及北支に對する皇軍行動の序幕なる如く宣傳し、來るべき聯盟總會に交感せしめんとして居る。故に若し聯盟等が國內問題たる熱河問題に少しでも疑念を有つやうなことがあつたならば、それは全く支那側策の術中に陷りたるものであつて、自ら其不明を暴露するに過ぎざるものであつて、吾人としては斷然一蹴すべきものなることは申す迄もないことである。

怪人凱歌（百六十四）

須藤鐘一（書）瀧秋方

初戀（三）



「そのわたしを付け狙ふといふのは、一たいどんな男なのでせうか？」

と、眞佐子はしかし案外平氣である。

「わたしも直接、逢つたのぢやないの。留守のものや、此の美容院の受附などへ、ちよい〳〵顔を出して、眞佐子さんのことを根掘り葉掘り聞くといふから、わたし矢野といふ男が本人でなくて、誰か人をつかつて調べさせてゐるんぢやないかと思ふのよ」

「へえ、もうあれから二年もたつんですが、やはり斷念しないで付け狙ふなんて、隨分執念深い男ぢやありませんか」

「さうよ。そんな執念ぶかい男は恐ろしいからね、此方でその裏をかいてやらうと思ふの」

「裏をかくと仰しやると？」

「それはね、わたしいろ〳〵考へたんですが、あなたといふものが、もう故郷へ歸るか、他所へ行くかにして、此處にゐないといふことにしたら、先方だつて手のつけやうがないと思ふのよ」

「そんなことが出來ませうか？」

「それにはね丁度先頭から廣濟へ美容院の分院を出さないかと云はれてるから、それを出すことにきめて、眞佐子さんにあちらへ行つてもらつたらどうかと思ふの。然し、たゞそのまゝではいけないから、いつかも云つたやうに身のつくりをすつかりかへてしまつて純日本風にするの。髪は島田か結綿に上げ、振袖でも着るんですね、そして名前もかへてしまつて、家のものにも秘密にしておいたら、きつと分りつこないわ。——」

「さうでせうか。では、どうぞ先生よろしくお願みいたします」

眞佐子はすなほに先生の說に從つたが、言葉をあらため、

「先生、あの、わたし折入つて先生にお願ひがあるんですが……」

と、いつて、眞面目に信子の顔をおつと見入つた。

「何ですか、そんなにあらたまつて……？」

と、信子は訝かし氣に問ひかへす。

「あの山路さんの兄さんのことですが、兄さんの方が職をさがしに出て歸つて來ないし、今ゐる鉱山といふ家にも、長くゐられないやうな事情があるので、妹の千鶴子さんが一人で困つてるんですのよ。それで、自分では、もう女中奉公にでも出たいと云つてらつしやるのですが、どこか先生のお知り合ひに、いゝお宅はないでせうか？」

「山路さんの兄さんといふのは、あの不良少年の仲間でせう」

と、信子は或る反感をもつてゐるらしい口ぶりで云つた。

「仲間といふ譯ではないでせうけれど……」

と言ひ譯しようとするのを、信子は打ち消すやうにして、

「あの、わたしいつか、眞佐子さんに忠告しやうと思つてゐたんですが、あんな人にいつまでもかゝり合つてゐると、飛んでもない災難に會ふかも知れませんから、あまり深入しないうちに、すつかり手を切つちやつたらどうです」

「でも、僕はみんな好い方ですから……」

「根がよくても、ねぢれてゐたり、碌が附ついてゐたりしては、此の世の中には通用しないんですからねえ」

「たゞ、境遇上、あんな風にすねてゐらつしやるんだから、ほんとうに親切な人が根氣相手になつてうまく導いてあげれば、立派になる方だと思ふのですが」

「それで、あなたが二人をもり立てゝ世に出してあげようといふのですか」

と、信子は皮肉らしくいつて、じろりと横目で見た。

「さういふ譯ではありませんの。たゞひさうしたいと思つても、わたしなんかにはその力がないんですから……」

と、眞佐子は悄氣る。

「まア〳〵自分の事から先にして他人のことは後まはしにすることですね」と、信子は從々不機嫌にいふのである。

そこで、眞佐子はもう千鶴子のことを重ねて賴む勇氣も挫けてしまつて、たゞ俯向いてゐた。——何だ、自分が人の世話になつてる癖に、他人の世話をしようとは生意氣千萬だ！と云はれてるやうな氣がして、顔が赤くなつた。

日日案內
三行 一回金五十錢 五行 一回金八十錢 十行 一回金一圓五十錢 姓名在社 一回金十錢增 御申込みは電話二三〇〇番

質は三浦屋
貸出勉強、保管確實、新京祝町三丁目三(南花前) 三浦屋質店 電話三七七五番

急告 襖張替 新調 迅速、叮嚀 大勉強 文藻堂 青井表具店 長春東二條通十六番地 電話三四六四番

日本刀劍(鑑定無料) 新古刀、研、白鞘本造拵付實刀調製及賣買打粉、丁子油、(鑄止)(槍と薙刀) 長春室町小學校前 井上示現軒 電話三二〇三番

ほねつぎ專門 今井慶療院 新京室町公學校前

下宿案內所 東五條通及祝町五丁目角 滿日館 電話三八〇二番

合服の御注文は 時代の先端を走る高級既製服、入荷豊富 エスヤ洋服店 電話二六一九番

造花及生花 神佛具 葬儀道具一切 加藤葬儀社 新京祝町二丁目 電話三一〇八番

小口金融 月賦、日賦、其他御相談に應じます 新興社 祝町二丁目四番地(西本願寺向右隣)

山流 尺八 指南 初心の方歡迎す 師範 西田方山(ヤマトホテル)

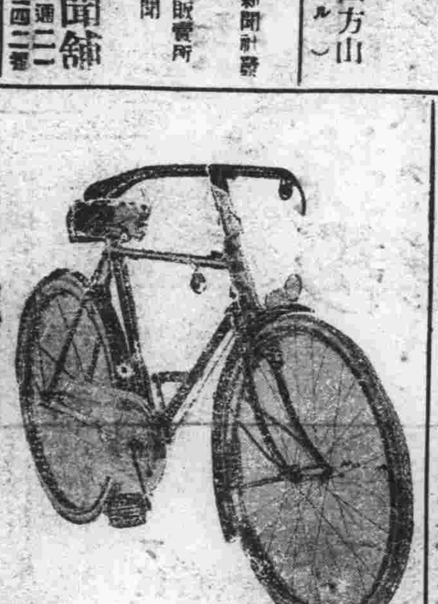
滿洲國政府公報取扱 東朝、大朝兩新聞社發行物一切 大阪 東京 朝日新聞販賣所 大滿蒙新聞 朝日舍 栃尾新聞舖 東一條通 電話二三四二番

洋帳簿 各種製本專門 三笠町三ノ九 三省堂製本所 電話三三三四番

職業紹介 無職ニ生活ニ困窮シタル者ヲ救濟ス並ニ求人求職者ハ無料紹介ス 新京勞動保護會

印刷 新京朝日通り 三友社 電話二四三八番

日本トランス 蓄音器 廉賣店



水炊。はまなべ。ねぎま 石菜なべ。あんこなべ
鯛茶
博多 鍋料理 とゞろき
新京朝日通り 電話三九三六番

聖戰僅か十三日

全熱河我にあり
四日午後二時五十分 省城承德遂に陷落す
川原先遣部隊威風堂々入城
旭旗全熱河を壓す
錦州戰鬪司令所公表

(錦州四日發國通)三月一日早朝朝陽を出發せし駿速機敏一擧にして凌源を突いた川原先遣部隊は更に長驅して四日午後二時五十分威風堂々承德に入城した 皇軍が承德に入るには少くとも一週間か十日を要するものと思はれてゐたが僅か四日間で八十里を突破したことは眞に稱讃に値するものである

武藤軍司令官着錦

(錦州四日發國通) 午後五時二十五分戰鬪司令所公表＝武藤軍司令官は熱河作戰指導の爲小磯參謀長以下諸幕僚を從へ、三日早朝新京出發、錦州に到着後錦州に戰鬪司令所を開設した(號外再錄)

承德占領に際し 我戰鬪司令所聲明

(錦州四日發國通) 熱河占領と共に我が戰鬪司令所は 左の如き聲明を發した

熱河攻略の爲め第一線諸隊が攻擊を開始して以來、僅かに十日前後、北部熱河方面に於ては開魯、下窪、建平、赤峰の要地をまた、く間に占領、南部方面に在つては、朝陽、凌源平泉諸地を占領して、本四日省城承德に入城し、又長城方面に於ても逐次所要の部隊を前進せしめ、各關門を扼守せんとしつゝある、斯くして戰線百五十里に亘る總兵力十五萬余の敵軍に對し、我軍は僅か十分の一の兵力を以て今や熱河省大半は皇軍の威武になびき旭旗各地に翻へり、久しきに亘り軍閥の虐政下に在つた 熱河省民は文字通り簞食壺漿して皇軍を歡迎して居る

斯くて豫期以上の成果を收め得し所以のものは、大元帥陛下の御稜威による事因よりであるが、また第一線諸軍隊即、ち茂木〇〇、〇〇、服部等の諸兵團これに協力せる飛行隊及び各種快速部隊等が極寒零下卅度の風雪を冒し、北部に於ては人煙稀なる蒙古沙漠地帶の 通過に凡そあらゆる苦難を克服し、南部地方に於ては山岳重疊たる地域を突破し、殆ど神業にも等しき迅速なる行動に出でたる賜に外ならず、此の間敵の抵抗も亦相當頑强なるものあり爲に尊き戰死傷を出した次第であつて、之等の將兵各位に對しては謹みて深甚の敬意と同情を拂はねばならぬ

又以上の如き華々しき第一線諸兵隊の戰功の裏面には、晝夜兼行にて彈藥、糧秣等の運搬に從事せる兵站諸部隊、鐵道部隊、幅輳せる多數の通信を發受して軍の作戰を容易ならしめた通信諸隊の如き後方諸部隊の涙ぐましい努力協同せるを看過してはならぬ

右が承德占領に至る迄の軍行動の概觀である 斯くて軍は今後引續き省內の肅正に努力する一方、政治工作を進め、省內治安の完成に努めねばならぬ、若し夫れ關內よりする學良軍の積極的實力行動の如きに對しては、勝算自ら歴々たるものあり

速力の鬪ひに 敵の度膽をぬぐ
十三日で最終成果得を

(錦州四日發國通) 熱河大討伐は皇軍の作戰は事にあたり僅か十三日間の短時間にて最後の目的地たる承德を完全に陷入れた、此の對熱作戰に於て特筆大書すべきは自動車隊乘馬隊、飛行隊及び地上無線の全機能を完全に發揮せる速力の鬪ひであつたことで、之が爲め初戰に潰走せる敵は第二第三の陣地に據る暇を與へられず、遂に擊滅されし如き大激戰をも見ず、敵に與へた損害の至大なるに反し皇軍の犧牲は極めて僅少に止まり、滿洲最大の成果を贏ち得た、滿洲事變以來滿洲の曠野に轉戰せる皇軍の最後の奮戰を飾るに相應しい大記錄を殘した

午前九時 兵營は空つぽ

(錦州五日發戰鬪至急報) 錦州戰鬪司令所發表、承德入城の際我飛行〇隊秋山中尉、先づ若陸承德の有力外國宣敎師と川原部隊長立合ひの上圓滿入城を計るべく申し合せをなした右宣敎師の話によれば「四日午前九時敵は退却の際市內兵營には既に敵兵なかつた 承德の東側高地に於て我軍は若干の死傷を出した

蔣作賓支那公使 六日引揚げと決定
有田次官に歸國挨拶

(東京四日發國通) 蔣支那公使は六日午后三時神戸發のグラー汽船プレシデント、クリーヴランド號で歸國と決定、尙午後三時半外務省を訪問、內田外相が議會に出て不在の爲め有田次官と會見して歸國挨拶をなした

承德市民歡喜して 皇軍入城を迎ふ

(承德四日發國通) 皇軍が熱河省の首都承德に入城したので多年湯玉麟の苛斂誅求に泣く市民は街頭戶々に日章旗と滿洲國旗とを揭げ、老若男女歡喜して歡迎の意を表した 皇軍は總督署、縣衙門、電燈廠、公安局等の諸重要建築物及び南門より五支里南方の兵營に分宿せしめた、東西南北の城門には高らかに大日章旗を翻へした、承德の市街は中門を中心として東西南北に通じて商家は戶每に閉鎖されてゐる、市內をさまよふ阿片患者、首が邊に大きな瘤を有する患者等は食を求めて流浪してゐる、清朝時代からの古風な建築物は大方は荒廢に歸してゐるが、湯玉麟の住居せる宮殿を改築した總督署、關帝廟、財神廟等はなほ往時の面影を留めてゐる

平泉の敵は 死体百五十一遺棄逃走

(錦州四日發國通) 錦州戰鬪司令所公表＝川原挺進快速隊は裝甲自動車をもつて途中敵を擊破しつゝ其の先頭は四日午前二時十分平泉に入城した、平泉には若干の敵あり、しばらく交戰の後敵は死體百五十一個を遺棄して退却した

潰走の敵を空から爆擊

(錦州四日發國通) 我〇〇機の報告によれば、承德北方道路上に約四五百の敵を潰走中で灤平西方に於て約四千の敵が西方に向ひ退却中、我空軍は之に猛擊を加へて歸還した

學良を蹴落し 蔣、閻、馮が一致
積極抗日策、決定か

(天津五日發國通) 熱河問題進展と共に蔣介石はその抱込みを策して、再三馮玉祥の南下を慫慂し、代表を派して口說いたが、熱河敗殘兵の雪崩を打つて北支に逃げ込むに對して、至急善後の努力を要するに至つたので、蔣は先づ中央軍を北上せしむる一方、何應欽李烈鈞等をも北上せしめ親ら四日新鄕に赴き、閻錫山、馮玉祥の代表と會見、中國の危機を救ひ積極抗日の建直し善後處置につき協議を重ねる處あつた 右協議の結果は不明なるも本日當地某所入電に依れば、馮玉祥は近く北平に出馬する旨の報道あり、右の報道を事實とすれば華北の時局に關し中央及び閻錫山の間に相當の諒解成立したもので、學良を失墜せしめ、國防副司令として今後馮玉祥が北支に於いて如何なる芝居を打つか、各方面より注目さるるに至つた

承德陷落は 湯玉麟の責任なり
張學良等聲明書を發し 滿洲國王道をそねむ

(北平五日發國通) 軍事委員會北平分會は承德陷落につき長文の聲明書を發し、一切は湯玉麟の責任なりとし、長城以南であくまで抵抗を決心してゐるが、敗因の一つとして熱河省民衆が、湯玉麟の壓制に對する反感から日滿軍の入城を却つて歡迎し、百姓等は到る處で日本軍の道案內をなした、と云ひ日本側は此の民衆の心理を了知し、政治的に戰つたもので眞の戰ひではないと、負惜しみを云ひながら一方では我が王道政治が如何に熱河省民に要望されてゐるかを告白してゐる

熱河アルプスを 突破せる我自動車隊
急追また急追の猛擊

(承德四日發國通) 朝陽出發以來猛烈な自動車驀進を續けて途中李木溝の追擊戰に敵を木葉微塵に打破つて凌源、平泉と主要都市を屠り、承德東方約二里天朝山の麓に差しかかるや、必勝を期して堅固な陣地を構築せる湯玉麟の熱河正規軍三千と交戰、白雪を蹴く熱河アルプスを四日正午完全に占領、疾風迅雷的進入に度膽をぬかれた敵は熱河街道を算を亂して潰走、海拔二千尺餘の急勾配を猛烈に行進する挺進隊の追擊は壯觀の極みであつた、かくて四日午後二時五十分我が飛行機の掩護を受け、日章旗を翻へしつゝ〇〇機と共に壯觀なる入城をなした

各方面から 祝電

熱河作戰の成功に對し各方面から陸續祝電が來た

▲英國駐在武官一同 酷寒の期に山地に在る優勢なる敵に對し疾風迅雷の如く長驅熱河を攻略せる皇軍の作戰の威力は英人の驚嘆し且我等の欣快措く能はざる處なり、茲に謹て御成功を祝し奉る

▲佛國駐在武官一同 疾風迅速なる熱河省の平定並作戰計畫及之か指導の卓越と皇軍の精銳は世界を驚嘆せしめたり、謹し忠勇無比なる皇軍將士に對し感謝と敬意を表す

▲京都聯合婦人會 本日第五回大會に當り國威宣揚祈願祭を行ひ忠勇なる皇軍の武運長久を祈り遙かに將兵各位の御奮闘を感謝す

戰捷の半面に この貴き犧牲

(赤峰四日發國通) 二日赤峰附近に於ける我が戰死傷者左の如し

▼戰死
▼重傷
▼輕傷

山岡部隊騎兵中尉
同上等兵
司令部付一等兵
山岡部隊騎兵一等兵
黑谷部隊騎兵一等兵
騎兵上等兵
〇〇〇隊騎兵曹長
山岡部隊騎兵上等兵
工兵上等兵
騎兵上等兵
同
黑谷部隊騎兵上等兵
同
騎兵曹長
松田部隊騎兵一等兵

不破慶喜
堤　增吉
高橋作一
松本敏行
志村敏夫
川口輝滿
川村重吉
中島德一
岸田秀夫
渡邊靜夫
小出川勝
寺田　淸
川村晋吉
恒川　嘉
永田敏夫
松永左一

荒木陸相の感謝電

(錦州四日發國通) 二日午後三時荒木陸相より武藤軍司令官に感謝電が到着した

皇軍の勇躍は國民感激の的なり、ここに將兵の勞を深謝すると共に最後の成功近きに在るを感謝し重ねて武運長久を祈る

河津悅夫氏負傷

(建平四日發國通) 松田部隊に屬する鷲津部隊の河津の河津悅夫氏は老虎山附近の戰鬪で、右下腹部に貫銃創を受けたが、幸に生命に別狀なし

憐れ！湯玉麟 古北口入を拒絕され 察綏方面に逃走か

(北平五日發國通) 支那側の消息によれば張作相は昨夜漸く古北口通過を許されて北平に歸つて來たが、湯玉麟は古北口より內に入るを拒絕され、若干手兵を率ゐて察綏方面に落ちるらしい

けふの銀相場

[illegible]	一〇〇、八五
[illegible]	九七、八〇
[illegible]	九七、七五
[illegible]	九七、〇〇

満洲國建國記念作品募集

一等當選俗謠は全くの剽窃と判明
東京東洋大學の校歌そのまゝ
果然、大問題を惹起

満洲國が建國一周年記念として懸賞募集した、その一等當選俗謠『満洲國建國頌歌』は日本文中唯一の優秀作品として數ある應募作品中から斷然『一等當選』の榮をかち得たものだが、これが圖らずも東洋大學の校歌そのまゝの盗用作品であり、唯だその文句中『東洋大學』と『大満洲國』とが相違せるのみであることが、端しなくも暴露し、當選者の極𤍠卑劣なる行爲は勿論、これが審査に當つた審査員の責任問題まで惹起するに至り、今やこの満『洲國建國頌歌』をめぐつて一大センセーションを捲き起さんとしてゐる

誰知らぬ者はない
東洋大學校歌
古溪氏の名まで盗用

剽窃はどうして行はれたか同作品は東洋大學が創立當初制定したもので當時の同大學教授であり、現松山高等學校漢文科教授林古溪氏がその蘊蓄を傾け

＝苦心＝の作であり同氏自らも「意外の傑作」として永久に同大學の校歌に定めたものである、同大學では式日その他には職員學生打揃つてこれを齊唱することになつてゐる、同大學の學生はもちろん卒業生或は關係者にして誰知らぬものはない有名なものである校歌は左の如く今度の一等當選歌たる「満洲國建國頌歌」とは唯だ「大満洲國」か「東洋大學」になつただけで寸分違はぬものでありただ、第二節と第三節がそのまゝ

＝入れ＝變つてゐる位のことである、なほこれが原作者は林古溪氏であるが、その本名の「古溪」をそのまゝ雅號として今度の懸賞募集に應じたなど實に當選者の圖々しさ加減と全く呆れるものといふべきで其大膽さは實に誰しもあきれ返へるばかりである、審査員

態度は勿論滿洲國中央委員會そのものの重大責任問題であり、なほ且つかゝる圖々しさを敢えてした當選者は一体どんな

＝人物＝かこれが四夫下郎の虚名ならいざ知らず滿洲國官吏として神聖身分あるもので而かも建國中央委員會の今度の懸賞募集に最も關係深く實にその地位あるものであるにおいて

東洋大學校歌
林古溪作詩

——豪壯、壯重ニ——

一、亞細亞ノタマシヒフタタビメザメシ　ヨロコビ　アフレテヒトニ　雄々シク　アゲタリ　トキノコエ

二、東洋大學　生レヌ　カクテイノチニヒメタル　數ラヒラキ　仁義ト慈悲トノ　マコトノヒカリ

三、亞細亞ノアメツチ　アカツキアケテ　東洋大學　東亞ノ　光　オウガミ　フサセヌ　西ノ海　東洋大學　榮ヘヨ　永久ニ

ては實に啞然たらざるを得ないものがあるであらう

満洲國建國頌歌
建國周年懸募　俗謠一等當選
古溪作詣

——豪壯、壯脚ニ——

一、亞細亞ノタマシヒフタタビメザメシ　ヨロコビ　アフレテヒトニ　雄々シク　アゲタリ　トキノコエ

二、大満洲國　生レヌ　カクテイノチニヒメタル　數ラヒラキ　仁義ト慈悲トノ　マコトノヒカリ

三、王道立國　新天地　大満洲國　東亞ノ　樂土　亞細亞ノアメツチ　アカツキアケテ　正義　五族ノ　大同　オウガミ　フサセヌ　西ノ海　大満洲　榮ヘヨ　永久ニ

作品の審査は斯うして行つた
中央委員會の手で

そもく同記念作品の懸賞募集は建國周年記念大會中央委員會が委員長丁鑑修氏の名を以て關東軍を始め國務院總務廳同法制局、外交部、軍政部文教部、協和會、各學校長、各新聞社その他より適任者を物色し、去る二月五日これが審査員として審査を囑託したものであり、同月十二日午前十時から國務院會議室において最後の審査委員會を開き漸く決定を見るに至つたもので

あるその懸賞募集規定は左のごときものである

懸賞募集作品規定

滿洲國建國周年紀念大會中央幹事會懸賞募集作品規定左の如し

一、募集作品種目

一、宣傳ポスター圖案

二、建國紀念標語

三、學生作文

四、同上詩文

五、一般民衆及學生の建國紀念として貢すべき事業に對する意見

六、俗謠同上の意義を含むもの

二、説明

一、宣傳ポスター圖案は滿洲國民建國の精神を強調し民族協和、世界和平、開發資源、豐富民生樂王道の理想を頌揚表現せるものたること大小を問はず

二、建國紀念標語は（同上の意義を唱ひ）簡單明瞭にして意味深長なるもの字數は最大一種十八文字を限りとす

例題　掃滅軍患以維民生　民族協和四海兄弟　天老滿洲國意在行王道　喚醒國民精神　完成眞正獨立　東西建設之光明　是世界和平的光導

三、學生作文は（同上の意義を唱ひ）一千文字を以て限度とす

四、詩文は（同上の意義を唱ひ）新古を問はず詩体自由なるも一篇二百文字を以て限度とす

五、建國周年紀念事業に對する意見は

その國家的、全國的、地方的、個人的等何れのものたると差支なく、文体隨意なるも全文五百文字を以て限度とす

六、俗謠は滿洲氣分豚に建國の意氣と王道精神を唱つたもの、三百文字を限度とす

因みに以上何れも表題及住所姓名を明記すること及清書すること、し文字不明瞭住所曖昧なるものは没とす

三、應募作品は新京國務院内建國紀念大會中央幹事會徴求有獎作品委員會宛提出又は郵送すること

四、締切明日は大同二年二月十日とす

五、審査は本委員會專門委員之を行ふ

六、審査の結果三月一日の各大新聞に於て發表す

七、此項作品は凡て返却せず

八、賞金規定左の如し

一、宣傳ポスター　一等（五十元）二等五、（十元）三等一〇、（十元）

二、標語　同　同

三、學生作文　同　同

四、詩文　同　同

五、建國紀念事業同　同　同

六、俗謠　同　同

新京委員會

確かに問題　絶對的罪惡だ
審査員小林公學校長談

また同じく審査員だつた新京公學校長小林治郎氏は多少憤慨の色を見せ

何に！東洋大學の校歌そのまゝだつて？

＝實に＝驚いたこつた、無論審査員が寡聞で知らなかつたといふ責任はのがれない、私の落ち度だと恐縮のほかないが一体當選した男といふはどんな人物なのかまづそれが知り度い、いふまでもなく應募作品と創作でなければならないそれを盗用するなどは絶對罪惡だ實に非常識極まる罪惡だ速かに當選を取消すよりほかないと自分は思ふ、それが滿洲國の官吏で今度の

＝募集＝とも聊か關係のある人だつて？實にそれはますく問題だ確かに問題にはなるであらうが、この芽出度い建國一周年に際してなるべく穩かに事がすむやう祈つて止まない、

意外！當選者は總務廳勤務小林氏
審査委員何れも極度に狼狽

滿洲の建國頌歌が全く東洋大學の校歌そのまゝの僞作であり、大問題を惹起するに至つた、については一体當選者は何人であるか、また如何樣の人物であるかは先づ一般の知らんとするところであるがこれはまた意外その問題の當選者こそ建國周年記念中央委員會とも最も關係深く今度の懸賞募集についてはいはゞ内輪仲間ともいふべき國務院總務廳情報處新聞係主任小林啓喜氏その人であるから騷ぎは一層大きくなるわけだ、小林氏は元僧侶出身であり東洋大學は東京小石川にあ、宗教學校であることを知ればその間の事情も肯かれるであらう、何にしろ當局者たる當の本人が懸賞募集に應募し而かもそれが全くの僞作であることが暴露されるに及んで當然同氏は非難の的たるべきもので審査員中にもこの事實を初めて知るや極めて狼狽してゐるがこの結末を如何につけるかは最も觀物といふべく、審査員中多數は事實がかうまで判つた以上當選を取消すよりほかあるまいといはれてゐる

罪を天下に謝し　當選は取消せ
誠に困つた問題と恐縮して
審査員　江部高女校長談

右について審査の衝に當つた新京高女校長江部易氏を五日宿舍に訪へば氏は語る

それは實に困つたことが出來たものだ、無論僕も責任者の一人である、當時は大連で中等學校長會議があり隨分忙しい時であつたが、審査員が寡聞が足りなかつたといふ點において僕は罪を天下に謝する、誠に皆樣に對しても申譯はない次第だ、實は吾々の手にかゝつた日本文の作品は數は大變少かつたが、そのうちでは斷然光つてゐた、こんな大家の原作ならば優秀なのも尤もなことで、それを知らなかつたといふことについては非難があるのは誠に尤もなことだ、

なほ今後の處置については

何分既に審査の結果を堂々と發表し賞品まで渡したと頗る恐縮し、今日にあつてはどうして可いかも誠に困つた問題ではあるがしかし、いよく僞作と判つた以上は吾々は罪を天下に謝すとともに斷然取消し、一等を無くするとか或は二等を一等にするとか致すよりほかあるまい、それは「公平」といふ點からも見て最も正しいことではないかと思ふ

母校のため默つて居れぬ
某同窓生は語る

一方東洋大學出身、同窓生の一人であるある某氏は語る實にひどいことをするものだと思つてゐた

＝御紙＝に出てひょつと見ると母校の校歌そのまゝなんだ新聞の權威からいつても全く面白くないから

歌は僕ら同窓生に取つて誠に懐しいもの、林古溪先生の傑作で式日には必ず歌ふことになつてゐるが、なほ大正十二年母校騷動の當時はやつた歌がありそれが始終唄はれてゐるて、肝腎の校歌は平生余り唄はれない、それで一般にも普及されぬ

しろ母校の校歌をそのまゝ唯だ「東洋大學」を「滿洲國」と變へただけで、而かも恩師林先生の本名まで使用されては誠に母校ため迷惑千萬であり、僕も同窓生の一人として默つてゐるわけにはゆかない

＝何に＝せんか

見學に
齋藤保安主任大連へ

新京警察署齋藤保安主任は四日から向ふ四日間大連市に出張し、大連の模範的交通取締狀況を毛眼とし且つ花柳界方面を視察することになつた、なほ同氏の歸京後延びて行く新京にもつさもふさはしい設備をするものと見られてゐる

千歳女將の藝妓虐待事件
客の遺恨による投書

既報、市内吉野町一丁目料亭千歳が今回金三萬圓で佐方クニサンに賣却に際し藝妓達は「スーちやんに身揚りした分は別として仲居さん、顏や店の顏での掛勘定はこの際きれいにして下さい」と最初から契約は客が金を拂ふが拂ふまいが賣揚の幾分かを借金の分として毎月引くといふ約束じやないかと主人に迫つた然るに主人側では「總ては帳場に任してある」とか「主人にかけあつて呉れ」とかその他主人が藝妓に對して濫酷な取扱をするとの報を同時に同樣の投書が四日新京署に配達された、同署では、これは大變と直に同家主人を呼出し取調を行つた所右投書は藝妓馴染客の遺恨からやつたものと見られてゐる

怪しき賊
三名射殺さる
白晝四平街の騷動

（四平街支局特電）三日朝より四平街驛帝の情報に接した四平街警察署、憲兵隊、滿洲國警備隊では嚴重警戒中、五日正午頃、四平街署秋山、花田鈴木の三刑事が市内北大街二丁目十八番地雜貨商舍春方前を擧動不審の支那服を着した三人組の支那人を發見、誰何するや右三名の怪漢は一號式ブローニング拳銃を取出し發砲したので直にこれに應戰した結果賊二名をその場に射殺した内一名は現場を逃走し朝鮮銀行支店裏から線路づたいに昭平橋から逃走を企たが追跡中の警察官のため同橋畔で射殺された右三名は四洮線三江口驛から四平街驛迄の切符を所持してをた

三陸地方震災救濟
官民協力當る
東京中央放送局編輯

〔東京四日發國通〕內務省社會局では四日午前羅災民救助の爲め天幕二十六張、毛布三百枚、コンデンスミルク二千罐、澤庵三百樽を發送した、引續き燃料其他一切日用品なども續々發送する筈

〔東京四日發國通〕陸軍省は內務省社會局の希望により震災救援に毛布多數岩手縣の羅災地へ發送した

〔東京四日發國通〕白王丸は明日午前救恤品を滿載して三陸震災現場に急行する

〔東京四日發國通〕三井、三菱兩會社は三萬圓、安田善次郎氏は一萬圓を夫々三陸地方震災慰問に寄附した

〔東京四日發國通〕內務省ではく震災地方救護に關する豫算を聞き、大藏省に已に二預備金支出、八年度追加豫算增額な要求の筈

米新大統領に　聖上御祝電

〔東京四日發國通〕米國大統領ルーズベルト氏は四日、就任するので天皇陛下には同氏に對し御祝電を御發送あらせられた

災害地に御救恤金

〔東京四日發國通〕天皇、皇后兩陛下には今四日三陸地方の災害少からざる趣きを聽しめされ、四日岩手、宮城、青森三縣並びに北海道に御救恤金一封宛下賜の御沙汰あり、五日傳達される筈

ラヂオ欄

六日（月）奉天　錦州前一一、〇五　錦州よりの放送

一一、四〇（內地向）奉天后五、〇〇　シユード錢行　金銀相場作業通信新京后九、〇〇　演藝新京后五、四〇　講演東京后六、〇〇　ニュース東京中央放送局編輯

新京后六、二〇　時事解說（滿洲語）氣象豫報及市況

ニュース奉天后七、三〇　ニュース（支那語）

新京后七、四五　ニュース

新京后八、〇〇　ニュース（露西亞語）（朝鮮語）

新京后八、一五　ニュース　氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告

東京后八、二〇　時報

東京后八、三〇　ニュース

印刷機械及材料
各種印刷と製本
御小賣　北原紙店
電話　二一四一　二一〇〇　三七三九

貸家
家改造中十戸家賃二元敷一五〇至急來談
大和通取引所横昭和舘
一森

御挨拶
母死去ニ依リ三日間休業致シ大變御迷惑相掛け申譯アリマセン六日ヨリ從前通リ營業サセテ頂キマスカラ何卒倍舊ノ御引立ヲ御願致シマス
三月五日
各位　東和號藥房主
急告　家屋讓渡ス
店舖向二階付上下六十即（上下水道付）（但修理費金四千圓見當）姓名在社

急告!!
不信用の名は絶對に賣らぬ
去る三月一日於當所に開店後は新京廉賣所（舊營業所）とは全然何等の關係無之弊店は左記五名を以て各位の御用命を蒙り居り候間此儀御諒樣の上倍舊の御引立の程伏而奉懇願候
位並健至
土谷實
大倉泰俊
（李泰俊改名）
橫田季春
崔億萬

洋野魚菜乾物商
吉野町長春座前
スピード屋
三井義刀
新鮮と安價はスピード屋唯一の武器

東西合同　名流浪曲大會
一流一派を創造せる藝華　大學て浪曲殿室開かる
昇天の人氣王　桃山肿風
關東浪壇の彗星　一條大雲
任俠傳の名華　岡本圓造
新講曲……日本唯一　京山呑風
入場料　特等　壹圓　一等　五十錢
當る三月六日七日二日間
長春座
前賣割引券市內各理髮館におまります

森永ミルクキャラメル
森永ベルトライン　大和通り大叢洋行

淒艶紅涙双

鈴木彦次郎作
飛鳥久緒畫

（二二二）

秋空一碧、——うつろな瞳をあけて、仰ぎ見ながら、雄馬は、ひたすら、大きな力にふこがれた。しんそこから、たよれる人物を空に描いてあせつた。……

——その時、雄馬の腦裡にきらめいたのは、獨り、さびしく、大崎中屋敷に蟄居せられる格堂公の姿であつた。

「さうだ、此の上は、格堂さまの御叡力を仰ぐほか道はない。」深くうなづいた雄馬やつさし一道の光明を感じしほうさ、明るく頰笑んだ。

——けれど、雄馬の惱みはそれのみにさゞまらぬ。

——冬路の行衛は、まだ、知れぬのだ。

仇敵甲子松をこそ、討ち取つたものゝ、肝腎な冬路の消息は、全く、絕えてゐる。

雄馬はいま、衣服も改めて、襟、胸を糺しながら、大崎の中屋敷を訪れたのである。

「やあ、星台氏か、これアお珍しいようこそ〳〵——お手前も御無事で、まあ、何よりでムつたの。さ、さ、ずつさこちらへ。」

浦上老人、昔ながらの、つるりさ禿た頭をふりたてて矢繼ぎ早の挨拶。

「いや御老體も相變らず御元氣ですな、時に、今日お目通りが許ひませうか。」

「おゝ、殿樣も此頃は、すつかり御病氣も御回復遊ばされなかく〳〵の御機嫌ぢや。もうすぐもお逢ひなされたゞらう——何せ一時は、硯侍さもがお屋敷のまわりに詰めかけていやもう、大けさな手くばりだつたので、殿樣も、可成り

宿が高ぶつておいでぢやつたか、此の頃は、閣許で、あの騒ぎなんもで、やつさ此の通り警戒もゆるみ、やつさのんびり致したよ、——では、早速お取次ぎ致して參らう。暫く、こゝで、お待ち願ひたい

云ひ捨てて、浦上老人、急ぎ足で、奥に入つたが、なかく、姿を現はさぬ。

雄馬は、ぢいつと、腕を拱いたまゝ、もろくの感慨に耽つてゐた。

——この前、こゝに控へて

滾々と、胸に湧き起る愛戀の情——いやそれよりも、亡師に對して、また俠骨甲子松が最後の言葉に對しても、雄馬はあくまで彼女を探し求めねばならぬのだ。

生か？死か？——恐らく、冨もつかめ冬路の身を思ひわづらふで、雄馬は、幾夜、寢覺て、我衣の袖をぬらしたことであつたらう。

たが、畢竟、それは私事。

——雄馬は、晝夜の惱みに、愈々痩せ尖つた兩肩を、激しくゆすつて、健氣にも、冬路の幻影を振り拂つた。

そして格堂公の明察を仰いで、藩の將來にわだかまる暗雲を、ひたすら、打開したやさ決心した。

——で、先發した山縣狂謀の後を追ふて、京都に赴かうとへてゐた旅程を改め、三浦隊長以下同僚に別れをつげ單身、江戸に向つた。

——からり、晴れた晩秋の午後である。昨夕、江戸に到著して。

一夜を□州藩邸にすごした

お目通りを待つてゐた時は、まさに藩を勤王に導くべく、京をさして出發せんさ心組んでゐた雄馬であつた。

然るに今は？——ついに南部藩は、會津落城に繼いで九月二十五日、官軍に降り、一藩、悄々として、罪を待ちながら深く謹愼してゐる狀態だつた。

三月六日 舊二月十一日 月曜 辛未 赤口 定 張宿

●一白の人 隨分漸く事の半ばにして曉きを生じ易き日 乙さ巳さ亥が吉
●二黑の人 心を陽氣に持てば運氣も引き立ち來るべし 丙さ辛さ丑が吉
●三碧の人 足元の收拾を省みず先にのみ走り過ぐる日 乙さ壬、癸が吉
●四綠の人 無理をすれば破れを生ずロスごさ尤も注意 乙さ壬さ子が吉
●五黄の人 獨尊主義に流れて敬遠せらるゝ嫌ひある日 丁さ庚さ丑が吉
●六白の人 不況に沈み居りし身も追々吉運に向ふべし 辛さ戌さ寅が吉
●七赤の人 權謀は事を破る精力に優ることはなし奮勵 未さ辛さ戌が吉
●八白の人 照ても降ても本業離れず勵めば吉日さなる 丙さ庚さ亥が吉
●九紫の人 自己の職業に專心なれば向上進展するの日 甲さ乙さ丙が吉

大阪商船出帆
門司、神戸（大阪）行（毎偶數日午前十時出帆）
ばいかる丸 三月 六日
亞米利加丸 三月 八日
うらる丸 三月 十日
はるびん丸 三月十二日
香港丸 三月十四日
うすりい丸 三月廿八日
●切符發賣所 滿鐵沿線主要各驛及各地ジャパンツーリストビユーロー案内所
船車連絡切符（往復切符汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月）
大連、門司、神戸間乘船賃割引通用期間三ケ月（往復切符ハ復路運賃割引）
●專屬荷扱所 各地國際運輸會社支店
大阪商船株式會社 大連支店 電話四三七番
奉天出張所電話四〇八九番
新京出張所電話二二二六番

質
貸付勉強、保管確實
流質品 各種洋服オーバ其他色々
本店 大連
博多屋新京支店
新京祝町二丁目七ノ四

滿洲銀行

進！又進幕
特急ハト
援聲孃サービス
1933式 調理
祝町二丁目ノ三二
電話三八四六番

食道樂 千鳥 電二〇二八

—新入荷—
新ナラ漬、大根カス漬
守口大根漬、西瓜ナラ漬
市場 今田商店 電話二二二二番

滿洲國販賣所
燒燒器 田蘭漆 日田洋陶 有春東器
金龍洋行
新京吉野町二丁目 入口邦剛收
電話2755

機械暖房衛生工事設計請負
水道暖房衛生ノ修理……御用命ハゼヒ近藤商會へ……敏速ニテ質實デ致シマス
新京日本橋通り七拾八番地
近藤商會新京支店
電話三三八一番

三井物產株式會社 新京出張所
本店 東京日本橋區室町二丁目一番地
滿洲支店 大連市山縣通一八二番地
資本金 一億圓（全額拂込濟）
電話 二六〇〇 所長席 二四四四 保險、機械、庶務
三八八四 賣買 二七六三 保倉庫
三九八八 賣買 二四六〇 三井社宅
二〇六三 勘定出納 三三五八 所長社宅 社員社宅
取扱品目 生系、穀物、穀粉、大豆其他豆類、大豆粕其他粕類、豆油其他油脂類、石炭、鐵道用品、電氣其他機械類一般、砂糖、セメント、燐寸、紙類、麻袋、金物、木材、化學肥料、工業藥品、食料品、其他雜品、人絹織物

國際運輸株式會社新京支店
營業科目 一、海陸運送取扱營業 二、倉庫及金融 三、代辨及保證 四、勞力請負 五、委託販賣 六、前各項關係一切業務
電話
二五〇四 支店長支店長代理
二九三一 庶務係
二三〇一 倉庫金融係
二二三三 船積係
二三四六 東支線發著係
二六六五 經理係
二四八五 小口發送（南滿吉長吉敦）市内運搬
三〇五九 專用線荷役所
二三三八 專用線荷扱所
二六六三 日ノ出町倉庫
二五一〇 馬車部
二三九一 華工事務所
二一一五 寬城子荷役所
二九六 支店長宅
三三七九 支店長代理宅
三一七六 作業係主任宅
二七四三

辯護士 法學士 大原萬千百法律事務所
老松町十六番地（元競馬場跡朝日通北側）
電話（三九三七）（三九六七）番
哈爾賓地段街東拓ビル内 電話四五〇六番

建築の設計と測量は
何ンデモ親切ニ急イデ致シマス
合資會社 三共建築事務所
新京三笠町丸新旅館内 電話三九三一番
建築技師 佐藤武夫

荷入新
ステツキ 中折帽子 ネクタイ ワイシヤツ
和洋百貨 赤木洋行
新京三笠町 電話三一七三番 三八六九番

美酒佳肴
會席 御料理
長春座裏
やよい
電話三四九〇番

お茶
世帶道具、陶器類色々
三笠町二丁目
河久商店
電話三三〇四番

御待ち兼で——
——御座いました
最新流行形荷揃
各種フエルト、ゴム底
履物各種
新京吉野町二丁目一四
㊂小林履物店
電話二二四四番
檢人組合加盟店

取引先信用調査 縁談調査及紹介 各種企業調查 人事秘密探偵 家屋及商品紹介 經濟事情ヲ信
大正十年創業 全國各地同業聯絡 秘密嚴守 損害豫防機關
新京老松町十一番地
新京興信公所
電話三三五〇番

春向半衿縫糸とこ小間物組紐類
豐富着荷
京染取次ぎを初めました御用命は御電話で
半衿 帶メ 縫糸 組紐類 小間物
新京吉野町二
㋕商店
電話三〇九二番

建築金物部—新設
機械工具 土木用品 鐵道用品 暖房用品 建築材料
各品在庫豐富
新京曙町四丁目十四番地
㊂鳥羽洋行支店
電話三三一四番
本店 大連

日本橋通り
㋐みしまや呉服店
電話二五三五番

鞍山製鐵所コークス
一手販賣
鞍山コークスを使つて燃料さして他に比べて見下さい
暖房、ペチカーストーブ、に最も良し
第一、煙突掃除不用の事 第二、火力の强大な事 第三、量が多く灰の小さい事 第四、時間の永く持てゝ手の省ける事
其の他衛生上より見ても是非おすゝめ致します
値段……附屬地……一噸に付き……十一圓五十錢
同……北門外……同……十二圓
同……城内……同……十二圓五十錢
コークス用ストーブ 大十二圓 中十圓 小八圓
●御電話頂けば早速御送達致します●
鞍山コークス一手販賣 土木建築請負 ガソリン販賣
新京西四馬路
日新公司
日吉德藏
電話二二八一、三八九八番

朝鮮銀行新京支店（日本銀行代理店）
本店 京城
支店、出張所
内地、東京、大阪、大阪西區、神戸、下關
朝鮮、釜山、大邱、仁川、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、清津、會寧
滿洲、大連、旅順、營口、遼陽、奉天、奉天市街、鐵嶺、開原、四平街、安東縣、哈爾賓、傅家甸、錦州、齊々哈爾
支那、上海、青島、天津、
米國、紐育、英國、倫敦（駐在員）金勘定預金貸出、爲替事務ノ外鈔票勘定
滿洲幣勘定ヲモ取扱仕候
電話 營業所宿直 三六一六番 支配人舍宅 二三二六番 次席舍宅 二二〇六番

和洋家具、敷物
窓掛、文房具
洋品雜貨、建築材料
新京日本橋通
品川洋行新京支店
電話三〇六一番 二五九二番
本店 大連 支店 奉天